

いま
今もなお

じょうるいのこ

城墨残る

やしまのき

屋島城

にしやまさき
西山崎の

こさつ

古利におわす

ぼさつういほうそ

菩薩立像

とのさま
殿様の

はか なら

お墓の並ぶ

ほうねんじ

法然寺

ロウバイの

かお ただよ

香り漂う

こうけんじ

弘憲寺

ホーホケキョ

うぐいす

鶯 さえずる

ふじおじんじや

藤尾神社

ちようせん
朝鮮の

そてつ そだ

蘇鉄が 育つ

ほうせんじ

法泉寺

ばくまつ
幕末の

さぬき すく

讃岐を救った

さこん

左近さん

へらこいは

だいいっきゅう

第一級の

さぬきべん

讃岐弁

ういうじん
竜神の

でんせつた

伝説伝わる

さぶらういけ

三郎池

ぬ かし
塗り壁に

おうじ
往時しのぶ

うしとらやぐら
艮櫓

わかむしや
若武者の

つぐのぶ みが
継信、身代わり

いおちげた
射落畑

たのすけ
田之助は

はたちいちご
二十歳一期の

せいねんしやうや
青年庄屋

るり
瑠璃よりも

ねう たか
値打ちの高い

さまもうちやわん
木守茶碗

かみなり
雷になった

みちざね
道真、

てんじん
天神さんに

れきし
歴史ふむ

いわせおやま
石清尾山の

こふんぐん
古墳群

「をちかた」の

やしま てんぼう
矢島に転封の

いこま
生駒さん

よめい
嫁入りの

むすめ も
娘に持たせた

ほうこう
奉公さん

むかし
その昔、

さぬきめいぶつ
讃岐名物

さわら
鯖のからすみ

つきづき
月々に

み つき
つき見る月は

きくげつてい
掬月亭

らっか
落花も

うつく こうさい
美しく香西

なない さくら
七位の桜

いがわ おうじゃ
井側の王者は

かわらまち
瓦町

おおいど
大井戸

ね かお
根の香る

くすのきなが
楠流れて

けんめい
県名に

むがく
無学ゆえ

いのちお
命落とすた

どうめん
胴面さん

のうきよう
納経を

お おおみね
終えて青峰

か お
駆け降りる

なりあい
成合や

ちよくし つきよ
勅使は月夜も

た や
田が焼ける

うまのかみ
右馬頭頼之

ゆかりの

いわせ おはちまんどう
石清尾八幡宮

おにたいじ
鬼退治

ももたろうでんせつ
桃太郎伝説

おにがしま
鬼ヶ島

久米池の くめいけ

南に眠る みなみ ねむ

茶白山古墳 ちやうすやまこふん

景色下は けしき

天下の名園 てんか めいえん

栗林公園 りつりんこうえん

駅ありし えき

伝承伝わる でんしやうつた

三谿駅 みたにえき

屋島しぐれて やしま

八粟は やくり

晴れる は

仏生山から ぶつしやうざん

南に伸びる みなみ の

ガツリン道 みち

敵味方 てきみかた

ともにつかれた

屋島合戦 やしまかっせん

満を持す まん じ

与一の射止めし よいち いと

扇の的 おうぎ まと

香西の かうさい

町は向き向き まち む む

遍路行く へんろゆ

雨乞いの あまご

霊験伝わる れいけんつた

清水神社 しみずじんじや

讃州讃岐の高松様は

城が見えます

波の上

女木島の

才才テは昔の

防風壁

エレキテル

作った源内、

奇才の人

教育に

力を入れた

藩校講道館

水戸黄門の

恋人眠る

霊源寺

人柱

立てて強固な

平池土手

夢に見た

大師拝する

一宮寺

鹿の井や

桑の股出水

いまいずこ

百襲媛まつる

一宮

田村神社

戦国せんごくの

名残なごりとどめる

喜岡城きおかじょう

崇徳院すとくいんの

皇子みこまつりし

頭痛ずっうの神かみ

京きょうまでは

七日なつかかかった

南海道なんかいどう